

建築史 (History of Architecture)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	選択	4年後	1	講義	中川 明子
【授業の概要】 建築技術者として必要とされる常識を養うことを目的とする。 建築の工法、構造の変化に伴う建築の変遷を理解する。					
【授業の進め方】 視覚的理解を助けるため、代表事例などはプロジェクターでの投影を行う。視聴覚教材も利用する。学習ノートは適宜提出を求める。					
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】			
1回	建築史ガイダンス、西洋古代の建築1： 古代エジプト建築、古代メソポタミア建築	建築史を学ぶ意義、建築の発生と発達の原因についての説明。建築史、都市史変遷の概要の説明。1-2. 古代の建築遺構の紹介。その時代背景の説明。エジプトのピラミッドの発展過程、メソポタミアの土の建築の説明。			
2回	西洋古代の建築2： ギリシア・ローマ建築	古代ギリシア、古代ローマの代表的建築の紹介。その時代背景の説明。都市計画、社会基盤整備についての説明。			
3回	西洋中世の建築1： ビザンチン建築、ロマネスク建築	ビザンチン建築、ロマネスク建築の代表的建築物の紹介。その時代背景の説明。様式、構造変遷の説明。			
4回	西洋中世の建築2： ゴシック建築	ゴシック建築の代表的建築物の紹介。構造、彫刻についての説明。その時代背景、各国の状況の説明。			
5回	西洋近世の建築1： ルネッサンス(古典主義)建築	イタリアルネッサンス建築の代表的建築物、都市計画、庭園、建築家の紹介。その時代背景の説明。			
6回	西洋近世の建築2： ルネッサンス(古典主義)建築2	ルネッサンス建築の代表的建築物、都市計画、庭園、建築家の紹介。その時代背景、イタリア以外各国の状況の説明。			
7回	西洋近世の建築3： 新古典主義建築、ピクチャレスク建築、歴史主義建築	新古典主義建築、ピクチャレスク建築、歴史主義建築の代表的建築物、都市計画、庭園、建築家の紹介。その時代背景、各国の状況の説明。			
8回	中間試験	西洋建築史(古代～ルネサンス期)までにに関する知識を問う。			
9回	西洋近世の建築4： バロック、ロココ建築	西洋近世の建築2： バロック、ロココ建築			
10回	西洋近世の建築5： 新古典主義建築、ピクチャレスク建築、歴史主義建築	新古典主義建築、ピクチャレスク建築、歴史主義建築の代表的建築物、都市計画、庭園、建築家の紹介。その時代背景、各国の状況の説明。			
11回	日本建築史ガイダンス 古代日本の建築1: 縄文、弥生、古墳時代の建築	日本建築史に関するガイダンス、縄文、弥生、古墳時代の住居、集落について			
12回	古代日本の建築2: 奈良・平安時代の寺院建築	平安時代までの仏寺建築の成立過程変遷、伽藍配置の変遷についての説明。			
13回	古代日本の建築3: 古代における神社建築の成立過程	古代における神社建築の成立過程について			
14回	古代日本の建築4: 古代の宮殿と都城、平安時代の住居	古代の宮殿と都城、平安時代の住居			
	期末試験	古代までの日本建築史に関する知識を問う。			
15回	解答返却など	期末試験の回答を行い、中間試験、学習シートの結果より、各自、成績の自己評価を行う。歴史的環境保存活用の現状についての紹介、今後の建築、都市の在り方についての議論。			
【到達目標】	建築様式、都市の変遷と代表的建築様式の特徴を理解する。 歴史的に重要な建築家や思想家についての知識を深める。 「世界に通用する」技術者を目指す者として、西洋の建築文化への理解を深め、近代建築成立の理解への一助とすると共に、自国の建築文化への理解を深め、授業では取り扱えない、その他の地域の建築文化を自ら学ぶ姿勢を養う。				
【徳山高専学習・教育目標】	C1	【JABEE基準I(1)】	d-2a		

【評価法】	中間試験 45%、期末試験 45%、学習シート 10% の配分で評価する。					
【テキスト】	西田雅嗣他、『建築の歴史；西洋・日本・近代』、学芸出版社、2003 年					
【関連科目】	歴史（1 年） 建築計画（5 年） 都市計画（4 年）					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】